

事務事業評価（事前評価）実施結果（平成 28 年度新規要望事業等）

1 事前評価の目的

翌年度（平成 28 年度）を初年度として新たに予算要求しようとする事業及び継続事業で拡充・増額して予算要求しようとする事業について、「妥当性」「効率性」「有効性」「貢献度」を踏まえた多角的かつ総合的な視点で事前に検証し、内容の精査や優先度の調整等を図ることを目的とした。なお、今年度は第 4 次越谷市総合振興計画・後期基本計画・第一期実施計画（計画期間：平成 28～30 年度）の策定年度であることから、その採択対象とする事業費 300 万円以上の一般会計の事業（以下「実施計画対象事業」と、それ以外の事業の別により、それぞれ実施した。

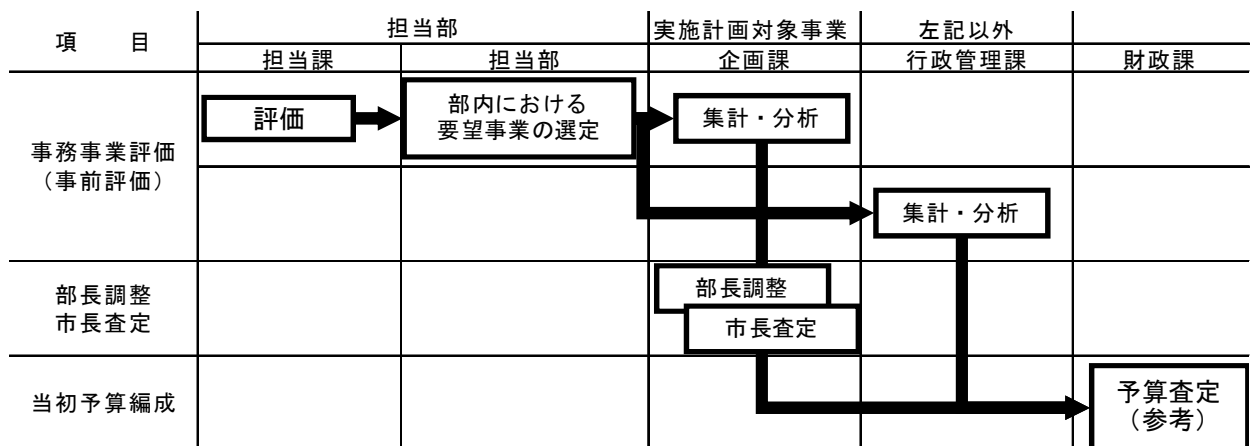
2 実施内容等

事前評価の実施時期・内容と実施手順は図表 1 及び 2 のとおり。まず担当課において、対象とする事業ごとに「妥当性」「効率性」「有効性」「貢献度」の各視点(図表 3 参照)等からの評価を行い、それを踏まえ、部内における優先順位付けを実施。その後、それらを取りまとめた上で（実施計画対象事業については計画策定手続に係る部長調整及び市長査定を経て）、その結果を評価表と併せて平成 28 年度当初予算編成の参考資料として活用した。

図表 1：【実施時期と実施内容】（平成 27 年度）

実施時期	実施内容	
	実施計画対象事業	左記以外
7 月～8 月	策定調書（評価表）作成	
8 月	ヒアリング	
9 月～	企画課長内示・部長調整・市長査定	
10 月～		評価表作成
11 月～	実施結果を財政課に情報提供	実施結果を財政課に情報提供

図表 2：【実施手順】



図表 3：【評価の視点】

視 点	
妥当性	市が担うことの妥当性が高いか
効率性	最少の資源投入量で最大の効果が出るか
有効性	事業の成果が出るか
貢献度	上位にある施策の実現（又は目的達成）に貢献するか

3 評価事業数

平成 27 年度における事前評価実施事業数は、実施計画対象事業が 60 事業、それ以外の事業が 7 事業、合計 67 事業であった(図表 4 参照)。

図表 4 :【年度別事前評価事業数】

	事前評価実施事業数
実施計画対象事業	60 事業
上記以外の事業	7 事業

4 評価結果の予算への反映状況等

事前評価を通じた実施計画対象事業とそれ以外の事業についての平成 28 年度当初予算への反映状況は、次のとおりであり、厳しい財政状況等の中で各担当部における精査を経て要望のあった事業数を、いずれも全体調整の過程でさらに厳選して絞り込む結果となった。

今後とも限られた予算の中で市民ニーズに適切に対応していくためには、これらの事前評価とともに事後評価や外部評価を引き続き積極的に活用し、既存事業の見直し等と併せた事業の選択と集中を一層推進していく必要がある。

図表 5 :【予算への反映状況】

	対象事業数…(1)	予算措置事業数…(2)	予算措置率…(2)/(1)×100
実施計画対象事業	60 事業	43 事業	71.7%
上記以外の事業	7 事業	5 事業	71.4%